



# 畳屋兄ちゃん通信 第 25帖

2カ月毎、10日に発行  
27年11月10日号

申

## 縁側 畳屋兄ちゃんの 世間話



あけましておめでとうございます。

2016年 1月の7日をもって、開業から8周年を迎える事が出来ました。昨年発表された漢字は「安」。個人事業者に「安泰」の文字は有りませんが安心してご注文いただける畳を提供し続けたいと思います。

地域の皆様方に支えられて、今日まで畳屋を続けてこられた事に心から感謝しております。申年の本年もよろしくお願ひ申し上げます。屋久島に行った時、植物の始まりは石に付くコケから始まると聞いた。

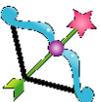


オレンジ色のコケ床から始まり、コケが土となり草木を成長させる礎となる。人間社会にも通ずるのでは？自然の摂理に習うべき事柄はシンプルで美しい。小さな小さな部分に目をやらずして、豊かな大自然は生まれません。



世の経済情勢、3本の矢の先にはヒモが付いていて、刺さる所が決まっていたようです。お金を刷って円の価値を下げ差額を作って儲けさせる、それで消費税増税はアカンでしょ、ゼロ%にはならない軽減税率も小手先だと感じる。消費税を払い続けても出生率が上がらない、老々介護が貧困が.....何故？大動脈だけでは無理！毛細血管に血を行渡らせて好循環を生む政治を求む！

ガン患者が多すぎますよね、予想していたがん保険の会社は、人を救いたいのなら、食べてはいけない物や受けなくても良い医療を教えなさい。



私には夢があります。40代のうちに会長になって、平成37年までにドイツ支店出店。障がい者を含む老若男女が集う会社作りを目指して頑張り続けます。



## 畳屋道場 元トラック運転手の 独立開業談話

独立開業の年から、毎年11月には経営方針を打ち出している。それによってホームページや畳屋兄ちゃん通信などが生まれた。経営学習と聞けば色々な所に行って参加してきた、経営理念の学習会は3回も参加しており、その度に理念の文言に改良を加え現在に至っている。

自分とは？ 自社の強み弱み、畳屋経営を通じて 社会的な役割を考えるなど、人間性 化学性 社会性 3つの要素を客観的に把握して経営を推し進めてきた。

だから自分 自社の身の丈は把握している、今必要な事は自社単体ではなく、点を線で結び面にする事だ、面で力を合わせて成長をすれば、地域を面の力で豊かにすることが可能になる。 「地域内循環」

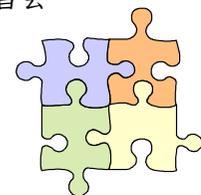
この言葉に魅力を感じていた私は、地域コミュニティーを立ち上げようと考えて、それを方針の1つとした。

行動に移ったのは平成22年12月末頃  
23年の方針を1月から遂行する為に、  
近くの個人経営者に声掛けをした。

集まってくれるかどうか分からない、  
ひとり悶々としながら、初会合の日を待った。



つづく



## 畳屋兄ちゃんからお知らせ

スマイリングのイベントを開催します。ワークショップや体験など  
日時:2月15日「月」11時~4時頃 場所:町の酒屋古木 檜切山19-41  
詳しい内容は、1月中頃にチラシを配布致します。気軽にご参加ください。



# 新調の目安25年

# 表替の目安10年

# ウラ返しの目安5年



## 畳業界の本音

## その巻 現在のイ草事情

イ草の産地と言えば「広島県」「岡山県」が主だったのは昔の話。現在の国産畳表は90%以上が熊本県産になっております。

福岡県や高知県福井県などでも一部作付けが有りますが、広島や岡山を含めても10%未満となっております。

イ草全体はどうなのか、国内で使われている畳表の割合と、中国産の畳表の割合は 7対3 とか 8対2 とか言われています。

なんと驚くべきことに、国産は2割~3割なんですよ！！

なぜ結果はこうなったのか？経営者としての畳業界「農家・問屋・畳屋」の経営努力が足りなかったから、バブルが弾けて現実を直視できなかったから、「中国産でも分からんやろ」という逃げが、大きなツケとして今まわってきているのです。非常にシビアな状況のイ草事情でした。



ゴトーたたみ製作所のページが有ります。いいね！をよろしく！  
猫田畳店 店主ヒロシ のページも合わせてよろしく！！

## ゴトーたたみ製作所 経営理念

私達は、人 環境に優しい畳を住まいに取り入れる事によって、健康な未来を約束します。

私達は、畳という伝統に創造を加える事により、和の使者となって、最も身近にある幸福と安らぎの空間を提供し、和職派の推進に努めます。

私達は、陽だまりのように温かい経営を通じて、元気で明るい社会と未来を、地域の方々と共に育みます。

ゴトーたたみ製作所 後藤 孝雄



昨年は、地域の方々に色々とお助けを頂きまして、充実の1年となりました。

2月にはオリジナル畳カルタを補助金で作成、カルタの英訳版を準備店頭でテントを設置、開業時に24万で購入した軽トラックが引退、新しい軽トラックにチェンジ。

5月には17歳の川上君を採用、精神障害者の支援機関より学生を1名社会人を1名、就労体験で受け入れました。結果的には現在も後藤・中西の2名体制で運営していますが、今年こそ経営拡大を図りたいと意気込んでおります。

イベントも沢山やりました、浜屋敷でカルタ大会 手づくり市出店、公民館で体験イベント、夏休みには弊社でミニ畳作りよっといで祭出店 豊中市 高槻市 地域コミュニティーでも体験イベントを行いました。

J:COMから取材を受けました、後藤吹田市長のブログ動画で少し対談もさせていただきました、FM千里の生放送に5回出演させていただきました。

吹田市起業家交流会の実行委員長・経済団体の副会長・副部長・支部役員・NPOの理事・全国商工連合会の商工業研究員に就任・自治会の会計.....体はひとつしかないんです。

子供たちの「すみませーんアメください」の声に忘れ続けました。スポンサー求む！(笑)

畳屋兄ちゃん通信は 2か月毎の発行で、現在は8千枚を配布。5年目突入！

Q. 後藤さんって何屋さんですか？ A. 畳を作っている職人であり、経営者です！！



ゴトーたたみ製作所 06-6875-9205 山田西2-9-6

地域の情報満載のホームページ「畳屋兄ちゃん」で [検索](#)

